

福祉保健生活環境委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成30年8月20日（月）～8月22日（水）

◆調査先・調査内容

①名古屋市動物愛護センター（名古屋市千種区平和公園2丁目）

調査内容：動物愛護と適正飼養の普及に係る取組について

同センターは、昭和60年に開設以来、動物愛護を基本理念とし、緑の中の「人と動物のふれあいの場」としての機会を提供するとともに、動物愛護と適正飼養を普及するための教室やイベントの開催、犬猫等による危害・迷惑を防止する業務を行っており、平成28年度においては、譲渡ボランティアや犬殺処分ゼロサポート寄附金等により犬殺処分ゼロを達成している。

主な業務としては、狂犬病予防業務、犬・猫の引取り、自活不能猫及び負傷動物の収容、収容動物の管理及び処分、動物愛護と適正飼養の普及啓発・指導、動物愛護推進員の活動の推進、特定動物飼養者への指導、人獣共通感染症対策などがある。

<主な質疑等>

- ・寄附金、ふるさと納税について
- ・殺処分について



②社会福祉法人さくら（豊橋市西幸町字古並）

調査内容：障害福祉サービス事業及び障害児通所支援事業に係る取組について

同法人は、平成26年に設立。放課後デイサービス事業、生活介護事業及び日中一時支援事業などの多様な福祉サービスを展開することにより、利用者が個人の尊厳を保持し、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援し、児童福祉に関する事業においては、障がい児が日常生活において基本動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応できるよう効果的に指導・訓練を行うことにより地域の社会福祉に貢献する。

主な事業としては、放課後デイサービス事業所「たまりば」、生活介護事業所「ふれあい」、カレーうどん専門店「幸製麺所」、タルト専門店「シャン・ドウ・フルール」、日中一時支援事業所「トネリコ」、太陽光発電事業、相談支援事業所などがある。

<主な質疑等>

- ・報酬改正に係る定員の増減の必要性について
- ・スタッフ確保について



③愛知県防災教育センター（尾張旭市大字新居）

調査内容：防災知識の普及啓発に係る取組について

同センターは、地震や火災などの災害から県民の命と暮らしを守り、防災知識の普及向上に役立てるための施設で、地震を体験できる装置をはじめ、各種の消防・防災に関する実物及び模型の展示や職員による説明などを通して災害の恐ろしさと防災の知識を身につけることができる。

主な事業としては、災害体験、地震体験、煙道体験、消火体験、ロープ結索体験などがある。

<主な質疑等>

- ・地震体験について
- ・煙道体験について



④特定非営利活動法人オレンジの会（名古屋市中村区椿町）

調査内容：ひきこもり支援などに係る取組について

同会は、若者の健全な育成及び自立を支援し、社会的ひきこもり・精神障がい・知的障がい・自閉症スペクトラム、また、生活困窮者などの当事者とその家族の現状の改善、解決を図り、当事者の能力向上と社会参加意欲の増進に資するとともに地域社会での活動を通じ地域社会に寄与する。

主な事業としては、通所型日中訓練事業所の運営（交流広場ライフアート、情報センターNOAH、LAVITA）、RITAの会の運営（社会的ひきこもり・精神障がい・知的障がい・自閉症スペクトラムなどの若者のRITAの会の活動場所の提供並びに相談員の派遣及び訪問支援員の家庭訪問）及び生活困窮者自立支援制度に基づく窓口の運営（自立相談支援、住宅確保給付金の支給、就労準備支援など）がある。

<主な質疑等>

- ・運営費、スタッフについて
- ・医療機関、専門機関及び学校等との連携について



⑤大府市議会（大府市中央町）

調査内容：ウェルネスバレー構想について

平成20年度に策定したウェルネスバレー基本計画において、健康・長寿に関する研究機関や施設が集積した「あいち健康の森とその周辺地区」を「ウェルネスバレー」と名付け、WV推進協議会を中心にWV関係機関や産業界、行政が連携し、健康づくり、医療、福祉など様々な分野においてウェルネスバレー構想に沿った先駆的な取組を推進している。心身ともに健康で、幸せに、社会と関わりを持ちながら生きていける社会を「幸齢社会」と名付け、心身の健康も実現、交流・にぎわいを通じた元気があふれること、生きがいを持って働き・暮らせること、世代を超えてお互いに支えあい・地域に愛されること、多世代に親しまれる農業、特色を活かした新産業の創出・育成の六つの基本理念の下、その実現を目指している。

<主な質疑等>

- ・人口流入、健康寿命について
- ・愛知県、名古屋市との関わりについて

